

3D映像事業を強化

デジタル アミューズ 中国企業と連携し制作

IT（情報技術）関連する3D専門の映像制作会社と連携。日本から映像制作技術を提供すること（東京・千代田、吉田健治社長）は、3次元（3D）映像を制作する能力を拡大し、3D映像の制作事業を強化する。中国・無錫にある3D映像制作会社、デジタルマジック（無錫市、周芸総経理）。デジタルアミューズの吉田社長が技術顧問

に就任したほか、日本からCGデザイナーを派遣し、3D映像制作を直接指導する。裸眼で3D映像が楽しめるコンピュータグラフィックス（CG）などを制作する。

3D映像は、機器の普及は進んでいるものの、映像作品の供給が少なく、機器が十分に活用されていないという。デジタルアミューズでも3D映像を制作しているが、人数が足りず、CMなど短時間の映像制作に限られている。人件費の安い中国に拠点を持つデジタルマジックと連携することで、映画など長編作品の3D映像制作が可能になるという。

デジタルアミューズの吉田社長は、CG立体映像の制作に長年携わるなど3D映像の草分け的存在。「ゲゲゲの鬼太郎 鬼太郎の幽霊電車」や「銀河鉄道999 ガラスのクレア」などを企画した。